

The Expert



平成24年4月10日発行

● 麻酔科 寺田 享志 講師 (平成4年・東邦大学卒)

東邦大学医療センター大森病院周術期センターの取り組み

周術期センターとは

手術を受けられる患者さんの様々なリスクを軽減し、より質の高い医療を実現するために、多職種の専門家によって形成されたチームが周術期センターです。スタッフは、麻酔科医・歯科医師・歯科衛生士・看護師・薬剤師・臨床工学技士より構成されています。

周術期センターの仕事とは

①薬剤のチェック

手術を受けられる前に中止したほうが良い薬(抗凝固薬など)があります。また服用を続けたほうが良い薬(循環器作動薬の一部など)もあります。最近ジェネリックの普及により、患者さんが服用されている薬剤の把握が困難になりつつあります。患者さんが麻酔科外来を受診される際に、お薬手帳を持って来ていただき、麻酔科外来でスタッフがお薬をチェックさせていただいています。また、入院中の患者さんは病棟で薬剤師によるお薬のチェックを行い、適切な服用指導を行っています。

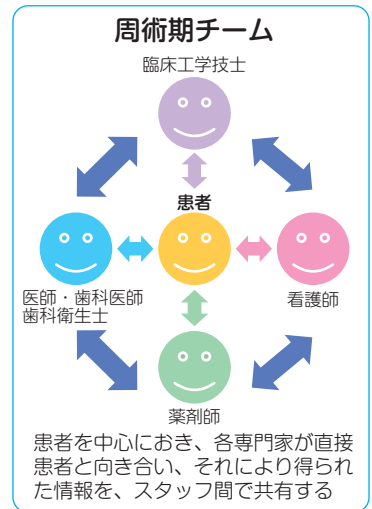
②口腔ケア

麻酔科外来で診察前に歯科衛生士による口腔チェックを行っています。歯科衛生士により手術前に歯科治療を行った方が良いと判断された場合、かかりつけ歯科医師に受診依頼をお願いするか、当院口腔外科で治療させていただきます。術前に感染源の除去を行い、術後肺炎の可能性を低下させる事、気管挿管に伴う歯牙損傷のリスクを減少させることが目標です。

③深部静脈血栓症(DVT)予防と術後疼痛対策

麻酔科外来でDVTのリスク評価を行います。DVTのリスクが高いと評価された患者さんに関しては、フットポンプを手術室から装着し、離床時に外して臨床工学部に返却します。臨床工学技士により機器のチェックを行い、正常に作動する事を確認後、手術室に戻ってきます。同じようにPCA(Patient Controlled Analgesia)ポンプを使用し、手術室から鎮痛薬の硬膜外持続投与または静脈内持続投与を開始し、術後鎮痛を行います。離床後、数日でPCAポンプは外され臨床工学部に返却されます。PCAポンプは、臨床工学技士によりチェックを受け手術室に返却されます。PCAポンプの使用期間は、主科の先生と相談で決めています。現在、泌尿器科・婦人科・腎臓科・呼吸器外科・消化器外科の患者さんを対象にこのサービスを行っています。今後、全科に適応を広げていく予定です。

手術を受ける患者さんは、いろいろな不安を抱えています。その不安を少しでも取り除くために、スタッフ間で情報を共有する事が大切だと考えています。最近、手術決定から手術までの期間が短縮されてきています。連携医療機関より得られる情報(治療経過や内服薬等)は、治療に直接反映される事が多いです。これからもよろしくお願ひします。



手術決定から離床まで

術前外来

手術

離床

- 歯科衛生士による口腔チェック
- 麻酔科医によるDVTリスク評価
- 看護師による内服薬のチェック
- 薬剤師による服薬指導
- 臨床工学技士による機器の整備
 - フットポンプ
 - PCAポンプ

● 診療予約

診療のご予約は、下記までご連絡下さい。
診療日・診療時間をご案内いたします。

● 診療日

寺田 享志 講師：水曜日午前

医療機関専用電話 **パートナー**
03-3762-6616 (直通)

(受付時間 平日 9:00~17:00、土曜 9:00~14:00)
(休診日:第3土曜日・日曜日・祝祭日・年末年始・創立記念日6/10)



東邦大学医療センター大森病院
Toho University Omori Medical Center
〒143-8541 東京都大田区大森西 6-11-1
03-3762-4151 (代表)
<http://www.omori.med.toho-u.ac.jp/>
発行元：地域医療支援センター

The Expert



平成24年4月10日発行

● 麻酔科 佐藤 暢一 講師（平成5年・慶応義塾大学卒）

呼吸ケアチーム（RST）が院内で活動しています

RST (Respiratory Support Team)は、2005年頃からいくつかの病院で活動が始まりました。病院によって活動内容は様々ですが、主に人工呼吸療法の安全かつ適切な運用を目的として複数診療科を横断的に活動されています。

平成22年度診療報酬改正からは、多職種からなるチーム医療の推進と医師の負担軽減を目的として、基準を満たすものについて呼吸ケアチーム加算として保険請求が認められるようになりました。当院では2011年1月から呼吸ケアチーム(RST)という名前で活動を始めました。医師・歯科医師・看護師・理学療法士・臨床工学技士・歯科衛生士・事務系職員で構成され、厚生労働省の保険診療基準を満たすチームとなっており、毎週1回の病棟回診を中心として人工呼吸器患者さんの管理に協力しています。

主に人工呼吸器からの離脱に問題を抱えている患者さんの主治医とともに協力して、呼吸状態を分析し、適切な換気方法の選択や理学療法、呼吸ケア、口腔ケアを交えて離脱を手助けすることが目的ですが、人工呼吸器をどうしても必要とする方に対しては在宅人工呼吸療法への移行や療養型病院への転院がスムーズに行えるようお手伝いをしています。また、人工呼吸まで必要ではないものの酸素療法が必要な患者さんに対しても、適切な管理や治療が進められるように援助を行っています。

その他にも院内の職員を対象として定期的に、酸素療法や呼吸療法、呼吸ケアなどに関する講習会を行い、病院全体の呼吸療法を安全かつ適切に行うことが出来るようにレベルアップに努めております。

これらの活動を通し、人工呼吸器を必要とする患者さんだけでなく、呼吸器系合併症をお持ちの患者さんでもなるべく安心して先端医療や手術を安全に受けいただくことが出来るように主治医の先生方と協力して取り組んでまいります。



呼吸ケアチーム(RST)メンバー

● 診療予約

診療のご予約は、下記までご連絡下さい。
診療日・診療時間をご案内いたします。

医療機関専用電話 **パートナー**
03-3762-6616 (直通)

(受付時間 平日 9:00~17:00、土曜 9:00~14:00)
(休診日:第3土曜日・日曜日・祝祭日・年末年始・創立記念日6/10)

● 診療日

佐藤 暢一 講師：適宜相談



東邦大学医療センター大森病院
Toho University Omori Medical Center
〒143-8541 東京都大田区大森西 6-11-1
03-3762-4151 (代表)
<http://www.omori.med.toho-u.ac.jp/>
発行元：地域医療支援センター